

◆経済倶楽部講演会第4562回（12月12日）

日本女子ゴルフはなぜ世界を 席卷しているか

日本女子プロゴルフ協会会長
小林 浩美

- *海外ツアーに13名が参戦、6人が優勝
- *最終日まで伸ばし切る力を養う
- *公平性を重視したポイント制はメリット大
- *底上げは考えずトップ選手を基準にする
- *世界の主要大会で日本人選手が増えた
- *韓国選手が世界で目立たなくなった理由
- *中期計画とビジョンで組織力を強化
- *放映権で得た収益を選手やスポンサーに還元
- *改革ができたのは切羽詰まっていたから
- *大会観戦を通じたジュニアへの普及活動



山縣 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、2年前にお越しいただいた日本女子プロゴルフ協会会長の小林浩美さんにお越しいただきました。

前回は「女子プロゴルフ改革 私の挑戦」というタイトルで、2011年に会長に就任されてから、日本の女子プロゴルフが世界で活躍できるように、いろいろ取り組みをされていたので、そのお話をさせていただきました。皆さんご存じのように、最近の日本女子プロゴルフ協会の活躍はすさまじいものがあります。最高峰のメジャーでも2024年に笹生選手が全米女子オープンで優勝し、古江選手がエビア選手権で優勝しました。年に2人もメジャーで優勝するということは珍しいですけれども、

25年にも引き続き西郷選手がシエbron選手権で優勝し、山下選手が全英女子オープンで優勝しました。2年間で4人もメジャーで優勝する選手が出たわけです。

さらに、いわゆるメジャーでなくても、アメリカの重要なツアーで優勝し、上位にたくさん日本の選手が入ってきているのも大きな特色だと思います。10位以内に2人、3人も日本人の名前がある。野球のアメリカ大リーグで活躍する大谷選手や山本選手が話題になります。日本の女子プロゴルフたちの活躍はそれに匹敵するようなことです。アメリカのスポーツメディアでも盛んに取り上げられて、日本の女子選手でアメリカで非常に有名になっていらっしゃる方も出ている状況です。